

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 神石高原町立油木中学校  
教諭 鹿見 幸延  
助教諭 西江 克信

- 1 日時 平成25年11月1日(金) 2校時
- 2 学級 第2学年A組 11名(男子5名, 女子6名)
- 3 場所 2年A組教室
- 4 単元名 職場体験から自分のできる事を考えよう
- 5 単元について

### (1) 単元観

本単元は、1年次の「地域の福祉や産業」の学習の上に、職場体験学習を位置づけた単元である。職場体験を通して、地域の産業を守り育てるという視点から、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする資質・能力及び態度を育てることを目標とする。

本単元では、地域の職場での体験学習や事前、事後の活動を通して、「働くとはどういうことか」「地域の産業を守り育てるとはどういうことか」などの課題を探究的に調べ発表する。この学習を通して、生徒自身が将来の働く自分をイメージして、その成果を生活の中で生かそうとする資質・能力及び態度を育てることや、現在の自分を振り返り見つめ、新たな課題を見付けることが期待される。

学習活動は、1年次で「聞き取り学習」や「訪問学習」を行った3事業所、また、2年次で同様の学習をした3事業所の合計6事業所での職場体験学習を実施する。実際に職場で働くことで、働く人の思いや願いについて考えると共に、働くことの意義や満足感、達成感を実感し、将来の仕事や生き方に対する考えを深めることができると考える。

また、事前・事後の学習を通して、自分の思いや考えをまとめ、文化祭で発表するよう計画している。本単元で見つけた新たな課題は、3年次での「町への提言」へとつながる有効な単元である。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、1年次での総合的な学習で、「地域の福祉と産業」について探究的な学習を行った。聞き取り学習をし、グループごとに訪問学習で得た情報を壁新聞やパワーポイントにまとめ、発表する表現活動を行ってきた。しかし、男女間の話し合い活動などが十分にはできない状況もあった。

7月に行った生徒意識調査では、次の結果が得られた。

質問内容	肯定	否定
・自分の地域に関心がありますか。	11	0
・具体的に将来の職業は決めていますか。	11	0
・自分の考えや思いを文章にするのは得意ですか。	8	3
・グループの意見をまとめて発表できますか。	11	0

この結果から、生徒たちは、地域に関心をもち、将来就きたい職業を決めており、意見をまとめて発表できると考えていることが分かる。しかし、「自分のイメージとは全く違う仕事風景を見てみたい」とキャリアノートに書いている生徒や、「体験に期待すること」の中に「仕事をするこのしんどさを体験したい」と書いている生徒がおり、自分の仕事に対する姿勢に甘さを感じ勤労観・職業観を見直す機会にしたいとの思いをもっていることもうかがえる。

1年次の課題であった話し合い活動は、2年次になり、お互いに協力して話し合い活動を行い、グループの意見発表ができるようになってきている。しかし、自分の考えや思いを文章にまとめ表現することに、苦手意識をもつ生徒もいる。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、勤労観・職業観を見直すために、「聞き取り学習」や「訪問学習」の中で得た情報を基に、実際の職場で体験学習を行うことによって、自己の将来を切り開いて行こうとする資質や能力、態度を高めたい。

また、自分の考えや、職場体験で学んだこと感じたことを、パワーポイントでの映像と自分た

ちの考えや思いを文章にまとめた説明文として整理し、互いにプレゼンテーションを行い交流させる。また、文化祭での発表を見通して、シンキングツールのPMIシートを活用した言語活動を取り入れ、よりよく伝えるための表現方法を、相互交流・相互評価の中で考え改善させる。この活動を通して、話し合い活動や表現方法等についての協同的な学び合いの機会とし、課題を解決する力を付けたい。

## 6 単元の概要

### (1) 単元の目標

「職場体験から自分のできる事を考えよう」をテーマに職場体験学習を位置づけた学習活動を通して、働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする。

### (2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

#### 【学習方法に関すること】

- ア 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ。(思考判断)
- ウ 相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。(収集整理・分析)
- エ 相手や意図、目的に応じて表現する。(表現)

#### 【自分自身に関すること】

- オ 自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する。(自己理解)
- カ 自己の将来を考え、夢や希望をもち、具体的に考える。(将来展望)

#### 【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。(他者理解)
- ク 互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する。(協同)

### (3) 単元で学ぶ内容

- ア 働くことの意味
- イ 地域で働く人々の存在とその夢や願い
- ウ 自分自身の職業的将来展望を模索する取組
- エ 調査・比較・分析する中で、我が町や他地域の文化・良さ・問題点を学ぶ取組

7 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会のかかわり
単元の評価規準	<p>①働く人と自分達の評価を基に、「働くということ」の捉えのズレに気付き、課題を設定している。【(2) -ア, (3) -ア】</p> <p>②将来の働く姿の予想を基に、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。【(2) -イ, (3) -ウ】</p> <p>③シンキングツール（PMI等）を用いて、自分の考え・意見を整理している。【(2) -イ, (3) -ア・エ】</p> <p>④事業所からのコメントや思いを推察して、働くことへの新たな視点や価値を見いだしている。【(2) -イ, (3) -ア】</p> <p>⑤相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を適切に収集して発表している。【(2) -ウ・エ, (3) -ウ・エ】</p>	<p>①職業の必要性や地域的な特徴を知り、まとめている。【(2) -カ, (3) -イ】</p> <p>②「働く」ということについての捉えを基に、学校や地域社会の中で自己の今後のかかわりを明らかにしている。【(2) -オ, (3) -ウ】</p> <p>③将来の社会に対して、自分ができることを見いだしている。【(2) -オ, (3) -ウ・エ】</p>	<p>①異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。【(2) -キ, (3) -イ・ウ・エ】</p> <p>②グループ学習を通して、意見を交流・共有し、お互いに考えを深めている。【(2) -ク, (3) -イ・エ】</p> <p>③協同して課題を解決しようとする取り組み、社会に向けて貢献しようとしている。【(2) -ク, (3) -ウ・エ】</p>

8 指導と評価の計画（計45時間）

段階	時数	学 習 活 動	評価規準及び主な評価方法	
課題の設定	14	<p>○1年次の学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業調べの振り返りを行う。</li> </ul> <p>○地域の職業探究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいと課題の確認を行う。</li> </ul> <p>○働く意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験のねらいや自己の課題を理解する。</li> </ul> <p>○学習計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャー（地域の起業家）の講話を聞く。</li> <li>・マナー学習を行う。</li> <li>・講話を聞く前と聴いた後で気付いたこと、新たに学んだ事を交流する。</li> </ul> <p>○職場訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめを行う。</li> <li>・プレ発表会を開き、シンキングツール「PMI」を用いて相互評価を行い、修正する。</li> <li>・ポスターを基に、クラス内発表会を行う。</li> </ul>	学① 学② 他① 学① 学② 自②	ワークシート ワークシート 行動観察 感想文 行動観察 ワークシート PMIシート

情報の収集	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場体験学習に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験志望理由を明確にする。(体験先希望調査)</li> <li>・決意文を作成する。</li> <li>・職場体験先事前訪問計画作成をする。(質問事項・取材方法・自己紹介・打ち合わせ日程等のアポイント)</li> <li>・職場体験後の活動のまとめ方の検討をする。(グループ毎に発表・個人レポート作成等を確認する。職場訪問時に聞き取り調査する内容の整理)</li> </ul> </li> </ul>	自③ 学④ 自②  他①	ワークシート 決意文 計画書  ポートフォリオ
	0	< 8月 > ○体験活動事前最終確認 ○(地域の特徴的な産業の) 職場体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業を守り育てるという視点を踏まえ、働く人の思いを労働という視点と地域の産業に従事することを通して学ぶ。</li> </ul>		
整理・分析	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼状を作成する。(4月に記入したワークシートと比較しながら、新たな発見・気づきを整理し、下書きし、清書する。)</li> </ul> </li> <li>○ワークシートや礼状をビフォーアフターの視点で比較し、「働く」ことの意味やとらえ方の広がりや深まりを学級で話し合い、自己の今後の課題を明らかにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の働く姿をイメージする。</li> <li>・学校や学級、家庭の一員として今後の生き方をイメージする。</li> </ul> </li> <li>○文化祭でのまとめ発表準備(職場体験前の事前学習と5日間の職場体験を基に、働くということの捉えと広がり・これからの自分の課題をテーマにする。)</li> <li>○発表案の構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>(視点を定めて整理する。発表資料の絵コンテ作成。発表する際に相手意識や目的意識をもって必要な資料を準備する。)</li> </ul> </li> <li>○発表用デジタル資料作成・練習  <b>プレ発表会を行い、シンキングツール「PMI」を用いて修正案を考える。【本時14/16】</b> </li> </ul>	学⑤  自②  他③  他①  学③	制作物(礼状)  行動観察 決意文  ワークシート  ワークシート 行動観察  ワークシート 行動観察
・まとめ 表 現	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年内発表会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価し合い、改善点を踏まえ修正し仕上げる。</li> </ul> </li> </ul>	自①	デジタル資料 行動観察
	0	○文化祭での発表		
振り返り	2	○振り返り(文化祭での発表に対する保護者や地域住民からの感想を基に、自らの良い点や改善点に気づき、次の単元への意欲を高める。)	他③ 他②	行動観察 キャリアノート

9 本時の展開

(1) 本時の目標

プレ発表会を行い、わかりやすい発表になるよう相互評価と、改善を行うことができる。

(2) 本時の観点別評価規準

○シンキングツール（PMI等）を用いて、自分の考え・意見を整理している。

(3) 準備物

発表原稿、発表資料、電子黒板（2台）、ワークシート、バインダー（12枚）、模造紙、付箋紙、フェルトペン（12本）

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点 (●個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導 入	1 本時の学習内容 ○本時のねらいを確認し、見通しをもつ。	・これまでの学習内容を想起させる。	
	<b>プレ発表会を行い、わかりやすい発表にするための工夫について考えよう。</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前後で2つのグループに分かれて座る。</li> <li>・発表を聞くポイントについて確認する。</li> <li>・PMIシートについて確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで、発表者と司会者を確認させ、発表テーマをPMIシートに記入させる。</li> <li>※各グループで発表を聞く者4名、発表者2名とする。</li> <li>※本時は各グループ同時に1チーム（2名）を発表させる。</li> </ul>	
<p>〈発表を聞く時の4つの視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目的・伝えたいこと               <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を伝えたいのかがわかるか。</li> <li>・タイトルの付け方は適切か。</li> </ul> </li> <li>○内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが表現できているか。</li> <li>・誰に対する発表かを意識しているか。</li> </ul> </li> <li>○映像表現について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさや色、量が見やすいか。</li> <li>・図や写真の量や配置のバランスはよいか。</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションの使い方は適切か。</li> <li>・映像の順番は適切か。</li> <li>○発表の仕方               <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な声の大きさ。</li> <li>・話す速さやリズム、抑揚。</li> <li>・体の向きや態度。</li> <li>・表情や手ぶり身振り。</li> <li>・指示棒の使い方。</li> <li>・発表時間の使い方。</li> </ul> </li> </ul>			
展 開	2 発表と交流（ワークショップ型学習） ○ 職場体験学習での活動や学んだことなどを発表する。 ・発表者（2人）がプレゼンテーションを行う。 ・他の生徒は発表を聞きながら付箋紙にメモを取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1グループ計6人で進行させる。</li> <li>・グループの司会進行は生徒に行わせる。</li> <li>●発表を聞く4つの視点について意識させるよう、指導者はアドバイザーとして各グループに付き、適宜助言をする。</li> <li>・付箋紙にメモをとらせる。</li> </ul>	

言語活動の充実

- グループ毎の意見交流
  - ・司会者を中心に，PMIシートを活用して，良かった点，改善すべき点，おもしろい点を出し合い，改善策をまとめる。

- グループ発表
  - ・整理したPMIシートを掲示し発表させる。

- ・付箋紙に記入したことを発表させる。
- ・関連した内容を記述した生徒には追加発言をさせながら進行させる。
- ・聞き手4人の生徒全員が発表を終えた後，PMIシートに整理させる。
- 活発な話し合いができていないグループには指導者が参加し，質問や助言等を行う。
- ・発表を聞くときの4つの視点に焦点を当てた意見となるよう意識させる。
- ・話し合いから分かった新たな点についても記入・整理させる。
- 的確なグルーピングができるように支援する。
- ・指示棒を使って，できるだけ前を向いて発表するよう促す。
- ・チーム協議のために自分たちチームに活かせる内容，活かさなければならぬ内容をメモさせる。

- シンキングツール（PMI等）を用いて，自分の考え・意見を整理している。  
【行動観察・ワークシート】

〈PMI形式での整理において期待されるメモの内容〉

P (Plus)

- ・声の大きさがちょうどいい。
- ・プレゼンテーション資料がよくそろっている。
- ・絵や写真がわかりやすい。
- ・伝えたい内容がよく伝わっている。
- ・課題がはっきり書いてある。

I (Interesting)

- ・音楽が入っている・アニメーションがおもしろい。
- ・写真が良い。
- ・クイズを取り入れたのがおもしろい。
- ・発表内容の〇〇がおもしろい。
- ・〇〇のようにするとさらにおもしろくなるのではないか。

M (Minus)

- ・声が小さく，発表態度に自信がない。
- ・資料が足りない。
- ・スライドの順番が良くない。
- ・目的と映像内容や発表内容が一致していない。
- ・文字の色や大きさが見えにくい。

3 知の整理と統合

○チーム協議

- ・グループ発表のメモ等から自分たちの発表内容を再吟味する。

- ・具体的な改善ポイントを分かりやすくまとめさせる。
- ・時間があれば修正作業をさせる。

4 本時のまとめ

- ・学習を振り返る。

- ・生徒の学習状況を評価する。

5 本時の振り返り，次時の確認

- ・学習を振り返り，次時の課題を知る。

- ・本時の振り返り（自己評価）を書かせる。
- ・「発表会」に向けて，発表の見直しをすることを伝える。

まとめ

資料 (シンキングツール)

○PMIシート

P (Plus)	M (Minus)	I (Interesting)

<板書計画>

活動の流れ

- 1 本時の学習内容
- 2 発表者 プレゼン  
評価者 付箋にメモ
- 3 評価者 交流 (PMI)  
発表者 メモ
- 4 発表者 改善案の発表
- 5 振り返り

### 職場体験学習を通して学ぶ

**本時の目標 プレ発表会を行い、分かりやすい発表にするための工夫について考えよう。**

発表者のゴールイメージ

- ・相手意識を持って発表することができる。
- ・発表の改善策を考えることができる。

評価者のゴールイメージ

- ・プレゼンの表現方法を評価できる。
- ・改善策を示すことができる

P	M	I
声の大きさ 伝えたいこと 資料の配置	指示棒の活用 自信 写真と内容の不一致	4コマ漫画 キャラクター
写真の配置 絵や図の活用 タイトル	話す早さ 身体表現 表情	クイズ アニメーション

発表を聞く4つの視点

- 目的・伝えたいこと
- 内容
- 映像表現について
- 発表のしかた

1 単元名

「職場体験から自分のできる事を考えよう」  
 「地域の文化と異文化を比較して我が町（県）を見つめよう」

2 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・「職場体験から自分のできる事を考えよう」をテーマに職場体験学習を位置付けた学習活動を通して、働く人の様々な思いや考え方を  
感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする。
- ・「地域の文化と異文化を比較して我が町（県）を見つめよう」をテーマに、地域における様々な問題を自分の日常生活と関連づけて  
考えることによって生じた関心や疑問を探究することで、根拠を明確にして自分の考えを表現する力を身に付けるとともに、地域  
の一員として主体的・協同的に学習に取り組もうとする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ。(思考判断)
- ウ 相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。(収集整理・分析)
- エ 相手や意図、目的に応じて表現する。(表現)

【自分自身に関すること】

- オ 自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する。(自己理解)
- カ 自己の将来を考え、夢や希望をもち、具体的に考える。(将来展望)

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。(他者理解)
- ク 互いの特徴を生かし、意欲的に協同して課題を解決する。(協同)

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 働くことの意味
- イ 地域で働く人々の存在とその夢や願い
- ウ 自分自身の職業的将来展望を模索する取組
- エ 調査・比較・分析する中で、我が町や他地域の文化・良さ・問題点を学ぶ取組

(4) 評価規準

評価の観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
評価規準	①働く人と自分達の評価を基に、「働くということ」の捉えのズレに気付き、課題を設定している。 【(2) -ア, (3) -ア】 ②将来の働く姿の予想を基に、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。 【(2) -ア, (3) -ウ】 ③シンキングツール (PMI 等) を用いて、自分の考え・意見を整理して発表している。 【(2) -イ, (3) -ア・エ】 ④事業所からのコメントや思いを推察して、働くことへの新たな視点や価値を見いだしている。 【(2) -イ, (3) -ア】 ⑤相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を適切に収集して発表している。 【(2) -ウ, エ, (3) -ウ・エ】	①職業の必要性や地域的な特徴を知り、まとめている。 【(2) -カ, (3) -イ】 ②「働く」ということについての捉えを基に、学校や地域社会の中で自己の今後のかかわりを明らかにしている。 【(2) -オ, (3) -ウ】 ③将来の社会に対して、自分ができることを見いだしている。 【(2) -オ, (3) -ウ・エ】	①異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。【(2) -キ, (3) -イ・ウ・エ】 ②グループ学習を通して、意見を交流・共有し、お互いに考えを深めている。【(2) -ク, (3) -イ・エ】 ③協同して課題を解決しようとする取り組み、社会に向けて貢献しようとしている。【(2) -ク, (3) -ウ・エ】



3 単元計画

段階	月	時数	学 習 活 動	観 点	評 価 規 準 ( 評 価 方 法 )	指 導 体 制	教 科 等 と の 関 連
課題の設定	4月	14	○1年次の学習の振り返り ・地域の産業調べの振り返りを行う。  ○地域の職業探究 ・ねらいと課題の確認を行う。  ○働く意義 ・職場体験のねらいや自己の課題を理解する。  ○学習計画づくり(探究活動) ・ゲストティーチャー(地域の起業家)の講話をきく。	学①  学②  他①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人と自分達の評価を基に、「働くということ」の捉えのズレに気付き、課題を設定している。(ワークシート)</li> <li>・将来の働く姿の予想を基に、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。(ワークシート)</li> <li>・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。(行動観察)</li> </ul>	学年	全教科 社会 学活
	5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー学習を行う。</li> <li>・講話を聞く前と聴いた後で気付いた事、新たに学んだ事を交流する。</li> </ul> ○職場訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめを行う。</li> <li>・プレ発表会を開き、シンキングツール「PMI」を用いて相互評価を行い、修正する。</li> <li>・ポスターを基に、クラス内発表会を行う。</li> </ul>	学①  学②  自②			
情報の収集	6月	11	○職場体験学習に向けて ・体験志望理由を明確にする。(体験先希望調査)  ・決意文を作成する。	自③  学④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の社会に対して、自分ができることを見いだしている。(決意文・ワークシート)</li> <li>・事業所からのコメントや思いを推察して、働くことへの新たな視点や価値を見いだしている。(決意文)</li> <li>・「働く」ということについての捉えを基に、学校や地域社会の中で自己の今後のかかわりを明らかにしている。(計画書)</li> <li>・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。(ポートフォリオ)</li> </ul>	学年	全教科
	7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験先事前訪問計画作成をする。(質問事項・取材方法・自己紹介・打ち合わせ日程等のアポイント)</li> <li>・職場体験後の活動のまとめ方の検討をする。(グループ毎に発表・個人レポート作成等を確認する。職場訪問時に聞き取り調査する内容を整理する。)</li> </ul>	自②  他①			
	8月	0	○体験活動事前最終確認 ○(地域の特徴的な産業の)職場体験活動 ・地域の産業を守り育てるという視点を踏まえ、働く人の思いを労働という視点と地域の産業に従事することを通して学ぶ。				
整理・分析	9月	16	○学びのまとめと表現 ・礼状を作成する。(4月に記入したワークシートと比較しながら、新たな発見・気付きを整理し、下書きし、清書する。) ○ワークシートや礼状をビフォーアフターの視点で比較し、「働く」事の意味やと捉え方の広がりや深まりを学級で話し合い、自己の今後の課題を明らかにする。 ・将来の働く姿をイメージする。 ・学校や学級、家庭の一員として今後の生き方をイメージする。	学⑤  自②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を適切に収集して発表している。(礼状)</li> <li>・「働く」ということについての捉えを基に、学校や地域社会の中で自己の今後のかかわりを明らかにしている。(決意文・行動観察)</li> <li>・協同して課題を解決しようと取り組み、社会に向けて貢献しようとしている。(ワークシート)</li> <li>・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。(ワークシート・行動観察)</li> </ul>	学年	国語 技術 ・家庭科
	10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化祭でのまとめ発表準備(職場体験前の事前学習と5日間の職場体験を基に、働くということの捉えと広がり・これからの自分の課題をテーマにする。)</li> <li>○発表案の構成(視点を定めて、発表資料の絵コンテ作成。発表する際に相手意識や目的意識をもって必要な資料を準備する。)</li> <li>○発表用デジタル資料作成・練習</li> </ul>	他③  他①			
	11月		○発表用デジタル資料作成・練習 ・プレ発表会を行い、シンキングツール「PMI」を用いて相互評価し合い、修正案を考える。	学③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンキングツール(PMI等)を用いて、自分の考え・意見を整理して発表している。(ワークシート・行動観察)</li> </ul>		

まとめ・表現	11月	2	○学年内発表会を行い、相互評価し合い、改善点を踏まえ修正し、仕上げる。	自①	・職業の必要性や地域的な特徴を知りまとめている。(デジタル教材・行動観察)	学年	全教科
		0	○文化祭での発表				
振り返り	11月	2	○文化祭での発表に対する保護者や地域住民からの感想を基に、自らの良い点や改善点に気づき、次の探究活動への意欲を高める。	他③ 他②	・協同して課題を解決しようとする取り組み、社会に向けて貢献しようとしている。 ・グループ学習を通して、意見を交流・共有し、お互いに考えを深めている。 (行動観察・キャリアノート)		
課題の設定	11月	2	○地域の文化と異文化 ・テーマ(自然・産業・文化・歴史等)を絞り、広島(神石高原町)と沖縄の違いについて学級で意見交流し、テーマを設定する。	学②	・将来の働く姿の予想を基に、今の自分に求められていることについて新たな課題をもっている。(ワークシート)	学年	特活 社会
情報の収集	12月	6	○情報収集活動(しおりづくり) ・テーマに沿って、調べ活動(広島と沖縄の比較)を各グループで行う。 ・調べる際の企画・立案を行う。 ・分担して調べ活動を行う。	他①	・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重している。	学年	技術・家庭科 社会 理科 道徳 国語
整理・分析	1月	8	○整理・分析活動(まとめ発表準備) ・作成した原稿を、全体に発表して、相互評価し合い、改善点を踏まえて修正し、しおりとしてまとめる。	他②	・グループ学習を通して、意見を交流・共有し、お互いに考えを深めている。 (ポートフォリオ・観察、PMIシート)	学年	技術・家庭科 社会 理科 道徳 国語
まとめ・表現	2月 3月	7	○まとめ・表現活動(文集づくり) ・修学旅行を通して、学んだ事、これからの生き方について考えたことなどを「沖縄修学旅行レポート」と題してレポート(感想文)を書き、文集としてまとめる。	学③ 学⑤	・シンキングツール(PMI等)を用いて、自分の考え・意見を整理して発表している。 (しおり原稿) ・相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を適切に収集して発表している。 (文集原稿)	学年	道徳 特活
振り返り	3月	2	○(キャリア意識に関して)先輩から学ぶ講話会 ・先輩に質問してみたい事をまとめる。 ・講話会で話を聞く(質問する)。 ○キャリアノート記入 ・この一年間の総合的な学習で学んだ事について振り返り、まとめる。	学① 自③	・働く人と自分達の評価を基に、「働くということの」捉えのズレに気づき、課題を設定している。 (感想文) ・将来の社会に対して、自分ができることを見いだしている。	学年	道徳 特活
計		70	(※ 総合的な学習70時間+8月職場体験学習32時間)				

総合的な学習の時間 全体計画

<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真面目であるが、更に学習意欲を向上させるために、将来設計力を鍛える必要がある。</li> </ul>	<p><u>学校教育目標</u></p> <p>知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる生徒の育成</p> <p><u>研究主題</u></p> <p>生徒の思考力、判断力、表現力の育成～言語活動の充実・活用を通して～</p>	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上</li> <li>・豊かな社会性と人間性</li> <li>・健康で安全な生活</li> <li>・将来設計に基づく進路実現</li> </ul>
---	--	---

総合的な学習の時間の目標

人口が減少し少子高齢化社会となっている神石高原町の現状を知り、町の抱えている問題に目を向け、解決方法を探っていくことによって、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

各学年の学習内容・指導の重点（特に身に付けさせたい力）

	1 学年（50 時間）	2 学年（70 時間）	3 学年（70 時間）
テーマ	①地域の福祉と産業を学習することを通して、地域の現状と職業への理解を深める。	①職場体験から自分のできる事を考える。 ②地域の文化と異文化を比較して我が町（県）をみつめる。	①油木の自然・歴史・産業などについて探究し、故郷の未来と自己の生き方を考える。 ②進路情報の収集をし、将来を見通しながら意志決定をする。
主な学習内容	①について ・地域の福祉を探究的に学習し、福祉体験学習を実施する。 ・地域の産業について学習する。特に農業については、トマト栽培を体験する。 ・様々な職業について探究的に学習する。	①について ・地域の産業と仕事について探究的に学習し、職場体験学習を実施する。 ・自己と社会との繋がりを意識し興味関心のある職業について探究的に学習する。 ②について ・将来国際社会の一員として生きていくために、異文化との比較と探究的な学習を通して、郷土に誇りをもつ。	①について ・地域について探究し、地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに、自己の生き方を考える。 ・地域社会の一員として、なすべきことを考え協力して活動する。 ②について ・進路情報を収集し考察し意思決定する。
育てようとする資質や能力及び態度	【学習方法】 課題設定 思考判断 収集整理 分析 表現	○適切に課題を設定する。（課題設定） ○学習を通して課題の事実や関係を把握し、既習事項を活用して考える。（思考判断） ○相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。（収集整理・分析） ○相手や意図、目的に応じて表現する。（表現）	○興味、関心をもち、習得している知識技能を活用して、適切に課題を設定する。（課題設定） ○各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析する。（思考判断） ○主体的に情報を集め、適切に選択し活用することができる。（収集整理・分析） ○相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。（表現）
	【自分自身】 自己理解 将来展望 計画実行	○自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。（自己理解） ○自己の将来を考え、夢や希望をもつ。（将来展望）	○自分の人生や将来、職業について具体的に考える。（将来展望） ○自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動ができる。（計画実行）
	【他者や社会】 他者理解 協同 社会参画	○異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。（他者理解） ○学校内外の人との関わりやコミュニケーションができる。（他者理解） ○互いの特徴を生かし、協同して解決する。（協同）	○仲間と協力して根気強く課題を追究し解決する。（協同） ○社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動する。（社会参画）

指導方法	指導体制	評価計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験活動と事前事後指導を充実させる。</li> <li>○言語活動（比較・関連・根拠・説明・分析・考察・把握）を充実させ、育てようとする資質や能力及び態度の育成を図る。</li> <li>○各教科で習得した知識・技能を活用させる。</li> <li>○協同的な学習により他者と意見交流させる。</li> <li>○シンキングツールを用いて、学習方法や内容を検討させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年体制で指導にあたる。</li> <li>○T Tで指導にあたる。</li> <li>○地域等の関係機関と連携し、必要に応じて外部人材を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価の観点と評価規準を設定する。</li> <li>○ポートフォリオ・制作物、ワークシートなどの評価物・発表・自己及び相互評価による。</li> <li>○事前事後のアンケートで成長を分析する。</li> </ul>

各教科等との関連

国語	思考・表現(発言・記述)・伝え合う能力・情報活用、分析・発見・判断	音楽	技能・表現、創造、音楽と生活との関わり
社会	社会に関する教養(福祉・歴史・自然・文化)、社会参画していく資質と能力	美術	技能・表現、創造、美術と生活との関わり
数学	統計処理、情報活用、発見、思考、判断、表現、説明	保健体育	技能・表現、協力・参画・責任などの人間関係形成、社会形成、健康管理
理科	科学的思考(自然・化学)考察、情報活用、発見、判断力、表現・科学技術と人間生活との関わり	技術家庭科	知識と技能の生活への活用、家庭生活との関わり・福祉
外国語	発見、思考、コミュニケーション、表現力	道徳	道徳的心情・判断・実践意欲と態度、キャリアプランニング、人間関係形成
特別活動	心身の調和のとれた発達と個性の伸長、進路設計・キャリアプランニング、人間関係形成、社会形成		

地域との連携	異校種との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の社会福祉施設等関係機関との連携</li> <li>○地域公共図書館等の利用</li> <li>○地域事業所との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区内の小学校との連携</li> <li>○町内の各中学校との連携</li> <li>○町内の高等学校との連携</li> </ul>